

作成日：平成 28 年 5 月 18 日

学校法人 滋慶学園 札幌ベルエポック美容専門学校

第 1 回 学校関係者評価委員会

報告書

議事録：船石

1. 開催日時 平成 28 年 5 月 18 日(水) 11:00~13:00
2. 開催場所 札幌ベルエポック美容専門学校 401 教室
3. 参加者 以下参照

<教育課程編成委員>

岩川 祥哉	業界代表	(札幌美容協働組合 理事長)
打矢 憲弘	業界代表	(有限会社うちや美容室 代表取締役)
鈴木 康弘	高校代表	(北海道芸術高等学校 法人 本部長)
西村 知子	地域代表	(東北第 2 町内会 会長)
松川 弘恵	保護者代表	
井森 千晴	卒業生代表	

<学校側参加者>

藤井 英嘉	札幌ベルエポック美容専門学校 学校長
下山 記弘	札幌ベルエポック美容専門学校 事務局次長
藤本 佳奈	札幌ベルエポック美容専門学校 教務部長
奈良 理映	札幌ベルエポック美容専門学校 美容師科学科長
村上 真子	札幌ベルエポック美容専門学校 学生サービスセンター長
船石 幸枝	札幌ベルエポック美容専門学校 キャリアセンター

4. 学校関係者評価委員会 議事

学校 職業実践専門課程の概要説明と学校で実施した自己点検自己評価に基づいて説明。

学校 平成 27 年度の数字

教育成果 退学者 在校生数 434 名に対し 11 名

国家試験結果 美容師科 97%、ヘアメイク・ブライダル科 100% 全国平均 89.1%

就職 就職希望者 188 名、内定者 188 名 内定率 100% 第 1 志望就職先への採用試験の合格率 85.9% 第一専門職内定者数 176 名

委員からの意見

求人は数年前まで道内でまかなっていたが、道外でも人手不足のため道外の求人が増えている。その為道外への就職者が増えている。

回答 学生支援について 様々の方面からサポートしている。保護者便りも出している。

委員からの意見 保護者便りは毎回家に届いているが良い内容であり安心につながる。

学校 教育環境について 現在の校舎は11年前から使用している。
学外研修（サツコレなど）には力を入れているが、海外研修については課題がある。
昨年度はパリでテロがあった為延期になっている。開催時期も未定。
また参加者も年々減少している。1～4期生までは6～8割参加しており6期生から減少しており現在は2割程度の参加となっている。
学生募集と受入れの課題「少子化」。2018年問題が2年後に控えている。
財務は少ない収入の範囲内でやりくりしている。
予算の執行管理をしっかりしていくことが今後の課題である。
法令順守、特に個人情報保護については国際規格を取得している。

平成27年度まとめ・重点課題

- 1、収支比率の適正化（学生募集と中途退学）
- 2、就職者率の向上と離職者率の低減

平成28年度の重点課題

- 1、学校コンセプトの見直し
「サッポロラボ」として産学官と協力し、広報・教育活動を推進していく
- 2、業界で「永く活躍できる」人材育成
「サッポロラボ」を軸に①あいさつ②清掃③休まない を身につけてもらう
その指標として1年以内の離職率の低減を目指す。

委員からの意見

●卒業生、講師という観点から。海外研修については参加者が激減しているので非常に驚いた。場所を変えるなりなど対策が必要では？

学生サロンをやりたくて入学してくる子もいる。現場にも近い授業だが毎回参加するお客様が一緒なので緊張感をもってもらうためにも新規のお客様を獲得していきたい

●学校から美容室に現場体験へ行く事は非常に良いことである。
現場実習に来てもらった学生を見ていると様々な学生がいる。

少し大丈夫かなと思う学生もいるので、その学生達の指導はどうしているのか？と疑問に思う。その学生達の指導を強化していけば離職率や中退の低減に繋がるのでは？

●手厚い学校だと感じた。地域清掃も地域の方から好印象である。夏祭りに協力してもらい、学生のレベルの高さに驚いた。引き続き学生に指導に尽力していただきたい。

●質問が3つある

- ・ 離職の理由について
- ・ 学生へのカウンセリングについてどんな資格を取得しているのか
- ・ 職業実践専門課程について一般の方や高校の先生、高校生は知っているのか？もっとアピールしては？

回答 ・ 離職の理由について

卒業生への調査により判明しているのは、人間関係や仕事のきつさなど。

- ・ カウンセリングの資格
学園内での資格である。全職員が取得するよう進めている。
- ・ 職業実践専門課程
一般に広く知られていない、難しい話なので高校生への周知も課題である。

委員からの意見

福岡特区のモデルについてどう思うか

学校 国の政策として多方面からの協力ができていないので混乱状況にある美容師の資格をオープンにしようという話が挙がっていた。

委員からの意見

協会として免許制度について、免許の制度を廃止にしようとする動きがある。カットだけのライセンスにしようとしている動きがある。そして美容人口の減少に歯止めをかけようとしている。海外労働者を受け入れる事により、感染症などの問題が出てきている。国内での感染症が少ないのは世界でも美容についてしっかりと勉強しているのが日本である。やはり国家資格として守られているところがあるのでそれを守っていくことが必要である。

学校 今日いただいた意見を学校運営に反映していくことが大事で、学内ですぐに改善に向けて動いていきます。

次回：平成 29 年 5 月を予定

以上